

第7回
久留米市男女平等に関する市民意識調査
報告書

平成27年3月

久留米市

目 次

I 調査の概要

- 1. 調査の目的 1
- 2. 調査の内容 1
- 3. 調査の性格 1
- 4. 標本特性 2
- 5. 調査結果利用上の注意 5

II 調査結果の分析

第1章 男女平等に関する考え方について

- 1. 性別役割分担意識 7
- 2. 分野別にみた男女の地位の平等感 9
- 3. 政策・方針決定過程への女性の進出について 21

第2章 子育て、教育について

- 1. 子育てについての考え方 23
- 2. 学校教育で重要なこと 29

第3章 家庭や介護に関することがらについて

- 1. 家庭内における性別役割分担の状況 31
 - (1) 家庭内の役割分担の状況 31
 - (2) 配偶者にしてほしいこと 43
- 2. 一日の生活時間 45
- 3. 介護について 52
 - (1) 介護の担い手についての考え方 52
 - (2) 家族・身内の介護 54

第4章 仕事について

- 1. 就業状況について 57
 - (1) 現在の就業状況 57
 - (2) 自営業の就労状況 60
 - (3) 雇用形態 62
 - (4) 働いていない人の状況 64
 - (5) 職場における女性の就業環境 66

第5章 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

1. 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度 …… 69
2. 「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の関わり方 …… 71
 - (1) 希望 …… 71
 - (2) 現実 …… 74

第6章 社会活動などへの参加・参画について

1. 男性の地域活動、家庭生活への参加のために必要なこと …… 77
2. 地域活動での男女の役割分担 …… 79
3. 女性が地域の役職につくことについて …… 88

第7章 DVなど女性への人権侵害などについて

1. 女性への人権侵害と思うもの …… 93
2. セクシュアル・ハラスメントについて …… 95
 - (1) セクシュアル・ハラスメントの経験 …… 95
 - (2) セクシュアル・ハラスメントだと思うもの …… 97
 - (3) セクシュアル・ハラスメントが起きた場所 …… 99
 - (4) セクシュアル・ハラスメントが起きた際の行動 …… 100
3. ドメスティック・バイオレンスについて …… 102
 - (1) ドメスティック・バイオレンスの経験 …… 102
 - (2) ドメスティック・バイオレンスの相談 …… 110
4. 女性に対する暴力根絶のための取り組み …… 115

第8章 男女平等、男女共同参画などに関することについて

1. 市の取り組みの認知状況 …… 117
2. 男女平等推進センターについて …… 120
 - (1) 男女平等推進センターの認知 …… 120
 - (2) 男女平等推進センターの利用 …… 122
 - (3) 男女平等推進センターに望む事業 …… 124
3. 男女共同参画社会実現のために望む施策 …… 127

Ⅲ 調査結果のまとめ

- 総括と今後の展望 …… 131

◎ 資料

- 使用した調査票 …… 139

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は「第3次男女共同参画行動計画・第2期実施計画（平成28年度～平成32年度）」及び「第2次DV対策計画（平成27年度～平成32年度）」の策定にあたり、市民の男女平等に関する意識と実態について把握し、今後の施策検討の基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 調査の内容

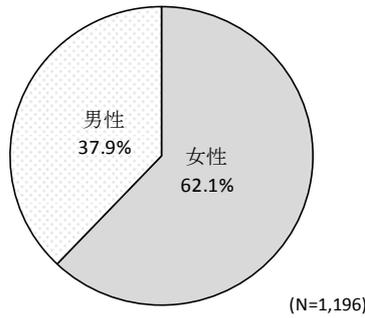
- (1) 男女平等に関する考え方について
- (2) 子育て、教育について
- (3) 家庭や介護に関することがらについて
- (4) 仕事について
- (5) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について
- (6) 社会活動などへの参加・参画について
- (7) DVなど女性への人権侵害などについて
- (8) 男女平等、男女共同参画などに関することについて

3. 調査の性格

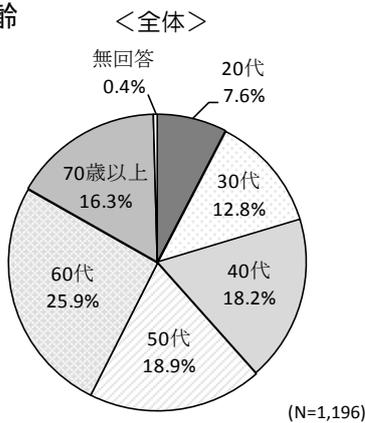
- | | |
|------------|---|
| (1) 調査地域 | 久留米市全域 |
| (2) 調査対象者 | 20歳以上の男女3,000人 |
| (3) 回収率 | 有効回収数1,215人（有効回収率40.5%） |
| (4) 抽出方法 | 住民基本台帳から無作為抽出 |
| (5) 調査方法 | 郵送法 |
| (6) 調査期間 | 平成26年9月19日（金）～10月3日（金） |
| (7) 調査企画 | 久留米市協働推進部男女平等政策課 |
| (8) 調査実施機関 | 西日本新聞社 お客さまセンター 調査・マーケティンググループ |
| (9) 分析と監修 | 武藤 桐子（NPO法人福岡ジェンダー研究所 研究員
香蘭女子短期大学非常勤講師） |

4. 標本特性

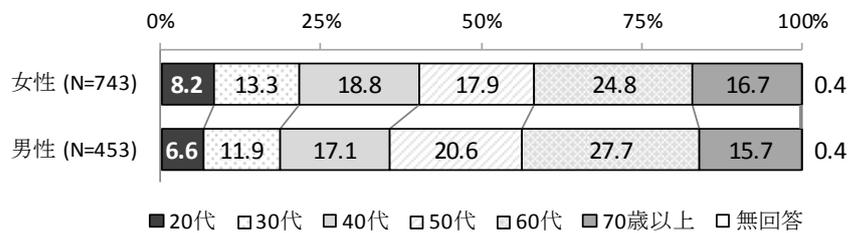
◆性別



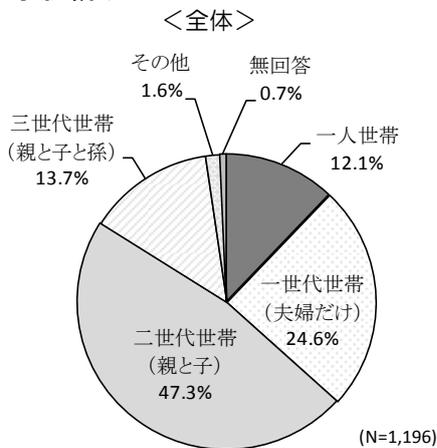
◆年齢



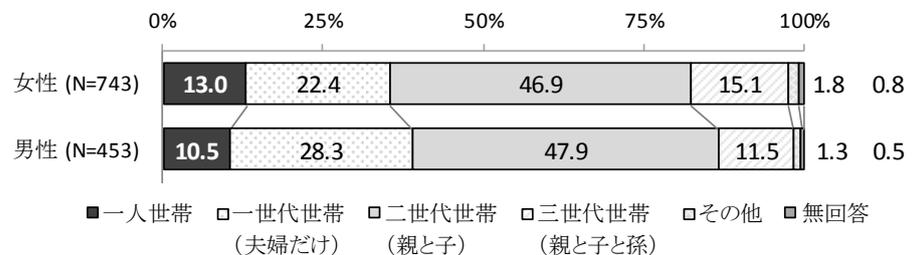
<性別>



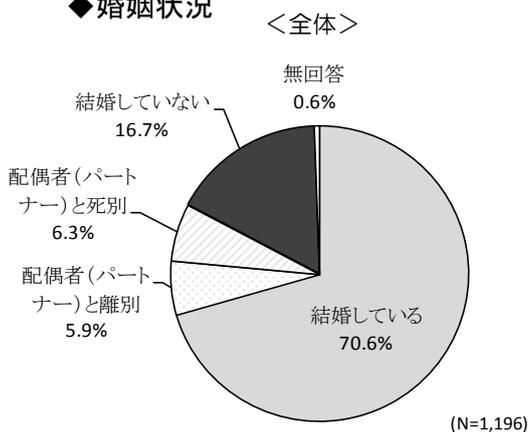
◆家族構成



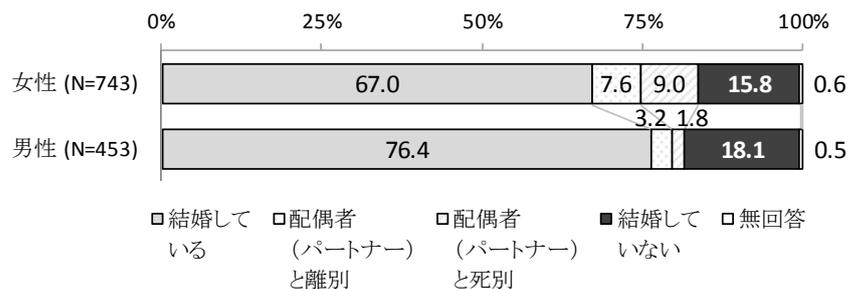
<性別>



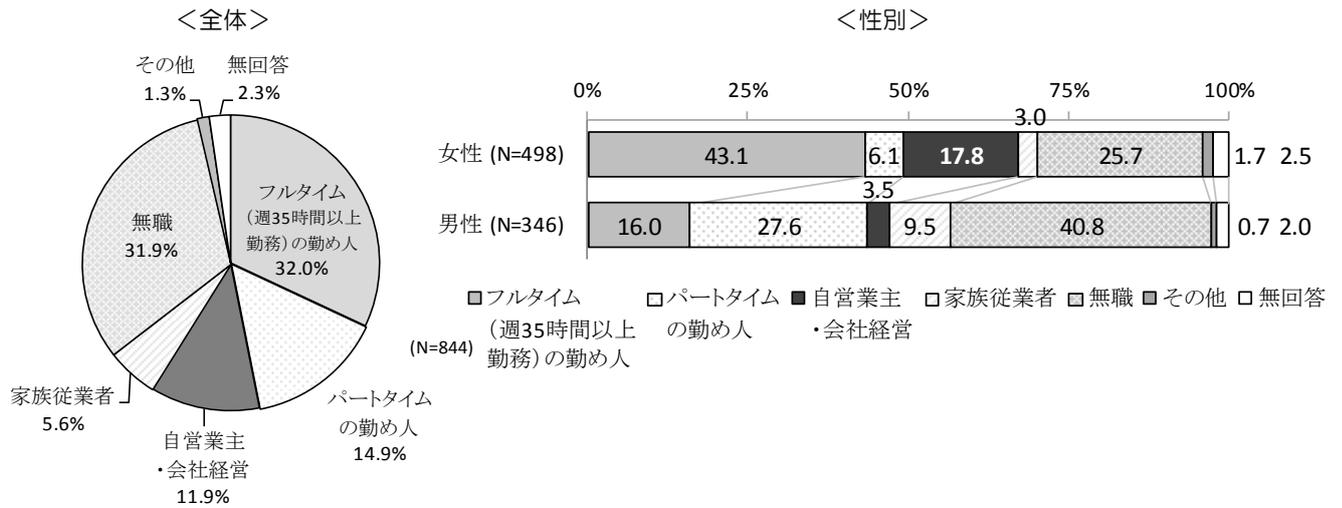
◆婚姻状況



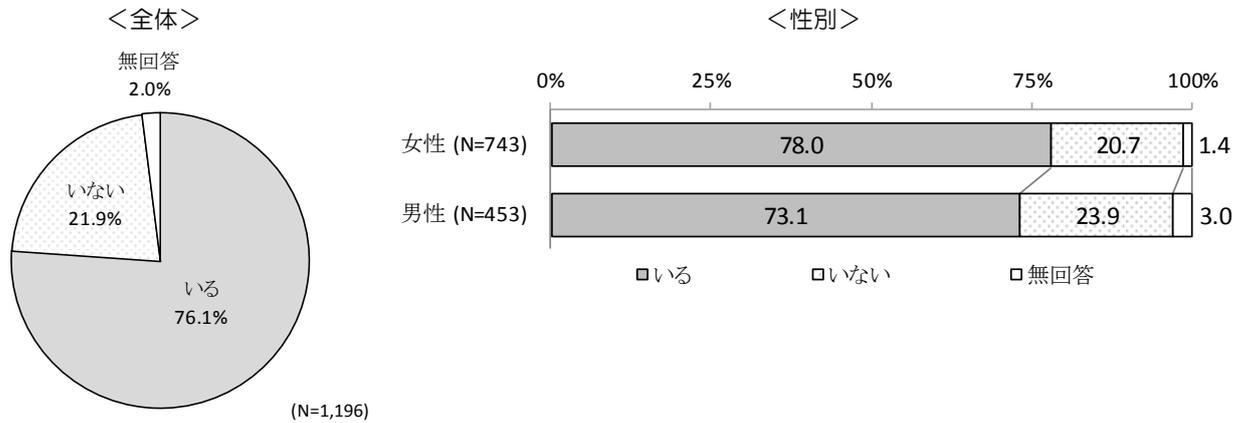
<性別>



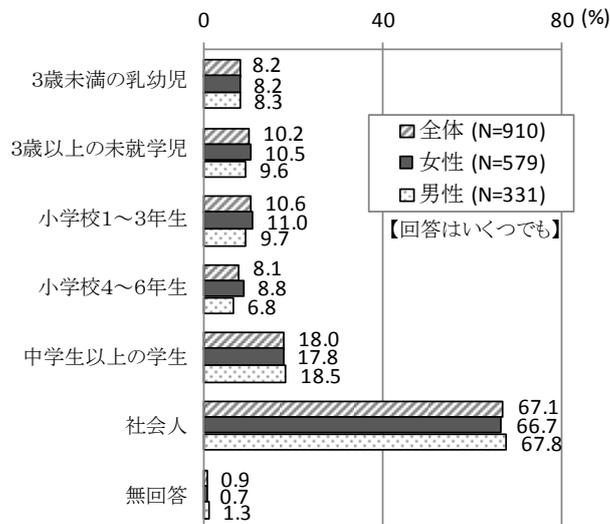
◆配偶者の職業



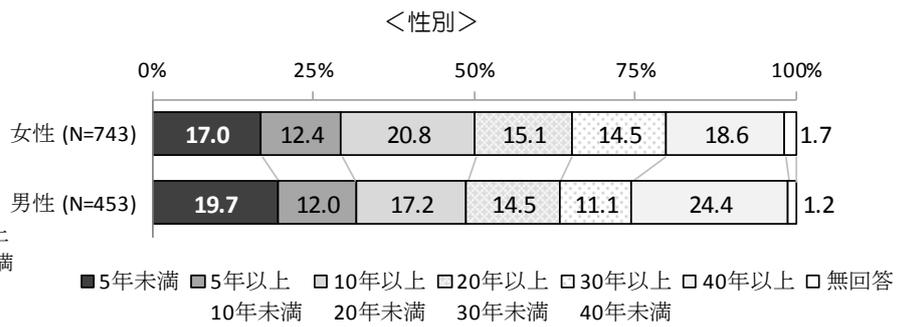
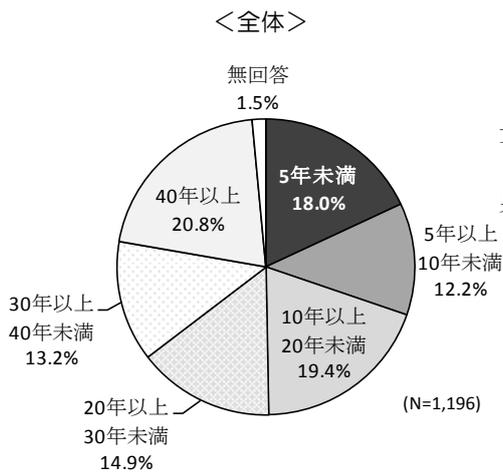
◆子どもの有無



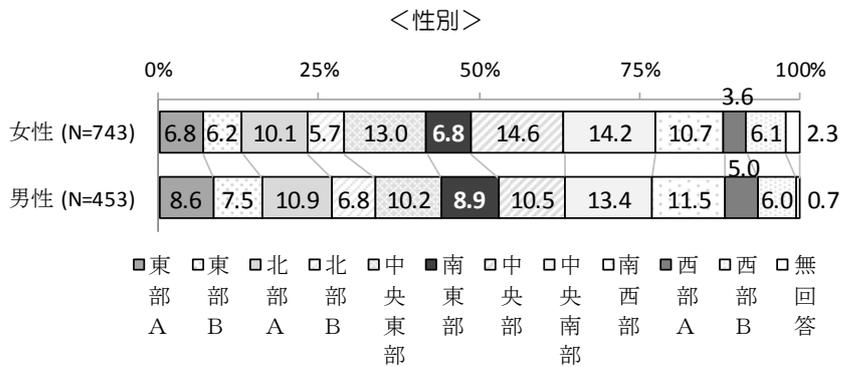
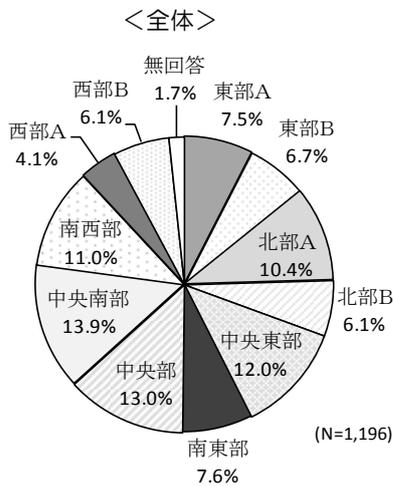
◆子どもの年齢



◆居住年数



◆居住地域



居住地域内訳（校区）

地域	校区
東部 A	山川、山本、草野、善導寺、大橋
東部 B	船越、水分、柴刈、川会、竹野、水縄、田主丸
北部 A	小森野、合川、宮ノ陣
北部 B	北野、弓削、大城、金島
中央東部	西国分、東国分、御井
南東部	上津、高良内、青峰
中央部	荘島、日吉、篠山、京町、南薫、長門石
中央南部	鳥飼、金丸、南、津福
南西部	荒木、大善寺、安武
西部 A	城島、下田、青木、江上、浮島
西部 B	犬塚、三瀧、西牟田

5. 調査結果利用上の注意

- (1) 今回調査では、旧久留米市と旧4町の人口構成比に配慮して、旧4町で集計分析に耐える十分なサンプル数を確保するために加重配分して対象者数を決定した。集計にあたっては、現在の久留米市の人口構成比に合わせるために、補正係数を乗じて計算している。そのため回答者数の合計は必ずしも合計値ちょうどにならない場合がある。
- (2) 回答比率の合計は百分比のポイント以下2位を四捨五入しているので、必ずしも100%ちょうどになるとは限らない。
- (3) 2つ以上の回答を要する(複数回答)質問の場合、その回答比率の合計は、原則として100%を超える。
- (4) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数(標本数)である。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがある。
- (5) 「付問」では前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して、続けて行った質問である。
- (6) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち2つ以上のものを合計して表す場合は『 』とした。
- (7) 今回の調査は、次の資料と比較分析を行っている。

内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」 平成24年10月実施

第6回久留米市「男女平等に関する市民意識調査」平成21年8月実